

# 業務改善助成金を活用した生産性向上と賃金引き上げの好事例①

## 事業者 a (小売業)

1. 課題があった場面	商品の検品や棚卸を行う場面
2. 具体的な課題	発注した商品が届いた際、箱から全て取り出しカテゴリ分け（店舗別・商品別）を行う。その際、ハンディターミナルを使用して一つ一つバーコードにかざして確認をするため、一人当たりの作業時間が3時間を要した。また、読み取り漏れが発生した場合は余分に作業時間が発生するなど。非効率な状態となっていた。
	
3. 導入した機械	RFID（電波を用いてRFタグのデータを非接触で読み書きするシステム）※を導入。バーコードのスキャンとは異なり、電波を用いることで複数のタグを一気にスキャンすることや遠くにあるタグをスキャンすることが可能。
4. 当初課題がどのように改善したか	一人当たり3時間を要していた作業時間（商品確認を含めると30分）が5分に短縮。生産性と労働能率の向上に寄与した。
5. 賃金引き上げ額と人数	事業場内の10名に対し、約40円の賃金引き上げ（30円コース）。

(※)RFID…Radio Frequency Identificationの略称